

●インド代表 チプコのメッセージ

私たちはチプコと呼ばれている
 チプコはインド語で“抱きつく”という意味
 私たちは木が切られないように木に抱きつく
 木と共に切られてすでに200人が死んだ
 今、あなたがたの国からたくさんの人に来て、たくさんの木を切り、
 たくさんのダムを作ろうとしている
 ダムができると森が沈み、私たちは生きていけない
 このようなことが行われないうちに、
 私達10万人のチプコは水に沈む覚悟をした
 よく聞いて欲しい
 私たちは決して貧しくない、私たちは豊かだ
 私たちは何も欲しくない、ダムも電気もお金も

あなた方は経済という宗教に取りつかれてしまった
 神様はお金、儀式は開発、生けにえは地球
 神様からの贈り物は飢えと公害と戦争
 開発は自然を殺し、一時の富をもたらすが永遠の生活と幸せを失う
 私たちは開発ではなく、幸せを求めている
 小さな土地と小さな水、そして小さな食べ物で十分なのだ
 幸せはお城の中ではなく、自然の中にある
 悩みは欲の中にあり、幸せとは欲から開放されること
 あなた方はどうして、その当たり前のことを忘れてしまったのか
 あなた方はどこに行くのか。
 Yes To life! No To death!

※インドのナルマダ渓谷に、現在3000のダムを作り100の村、10万人の先住民族
 を水に沈める開発が進められている。これには日本のODA（途上国支援）が大きく関
 与していて、国際的な批判で世界銀行は融資を中止したが、工事は今なお続いている

●フィリピン代表

私は漁民を代表してここに来た。
 私たちの国では、ODAの工場で海が汚れ、魚が死に、魚が曲がり、
 それを食べた人がミナマタ（公害病）で苦しんでいる。
 そのことを訴えた多くの仲間が弾圧されている。
 私の友人も帰ってこない。今は監獄に入っている。
 帰らないかも知れない…………（天井を見つめて絶句）…………I’ m sorry
 あなた方のお金がどのような結果を引き起こしているか、知ってほしい。
 私たちの国では5%の人が80%の富を独占している。

あなた方のお金をほしがっているのはその5%だ。
あなた方のお金は、私たち95%の生活をより悲惨にしている。
これ以上お金をばらまくことは、私たちの国を滅ぼすことになるだろう。

- アフリカ代表（タカの羽根を持って、非常にゆっくりと話し始めた）
タカの羽根を持つものには本当のことを語る力が与えられる。
私は本当のことを話す。私たちは幸せに生きていた。
伝統的な言葉で話し、伝統的な方法で子どもを育て、カヌーを作っていた。
ある時、知らない人がきて、
「お前たちの言葉で話してはいけない、お前たちの方法で子どもを育ててはならない、お前たちにはカヌーを作る知識がなくなった」と言った。
しかし私たちはそれ以外の方法を知らない。
私たちは自分の言葉で話した。そして殴られた。
私たちは自分たちの方法で子どもを育てた。そして殴られた。
私たちはカヌーを作った。そして殺された。
今、私たちは滅びようとしている。
あなた方は何がしたいのか、私たちはどうすればいいのか。
まず、私は事実を話した。次に答えるのはあなた方だ。

- 「モントリオール宣言」より
今、われわれの世界は、開発の名のもとに崩壊と絶滅の危機に直面している。
われわれは生存のために転換が必要である。
それには西洋文明の武装解除と開発の終焉、そして自然と文化の再生に向けて明確な一步を踏み出すことが不可欠である。
いまや開発は地球の調和にとって、逆効果であり、大きな過ちであったことが明らかとなった。
開発は南北のギャップを埋めるといわれたが、実際にはギャップは拡大し、深くなった。開発は全ての国にユートピアをもたらすと言われたが、今われわれは有限の地球にはそれが不可能であることを知っている。
開発は、地球上に単一の文明を築くことでより多くの文化の危機を招いた。
それゆえわれわれは、開発の終焉を要求するとともに、世界の人々が開発の嵐の後の再建に参加することを呼びかける。それは伝統的な知恵と新たな知恵の融合によって「永続可能な社会」を建築することである。

※モントリオール国際会議は、ブラジル地球サミットの1ヶ月前に「永続可能な社会」をテーマに開催、非常に深い討議と本質的な結論を導き出した。